



長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

令和4年度（2022年度）

子どもの心の支援にかかわる
高度人材育成プログラム（eラーニング）

受講生募集

子どもの心の医療・教育センターは、長崎県内の子どもの心の支援を目的とし、2016年10月に長崎大学に開設されました。当センターでは、地域と連携した子どもの心の高度人材育成およびネットワークの構築を目指した取り組みを行っています。

「子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム」では、現在、受講対象を全国に拡大し、取り組んでいます。

子どもの心の支援にかかわる高度人材育成プログラム

長崎大学 子どもの心の医療・教育センターでは、発達障がい等による子どもの心の問題を支援する一策として、子どもにかかわる専門職の支援能力向上、キャリアアップを目指し、教師や保育士、療育関係者等に発達障がいや特別支援教育、医療的な支援に関する教育プログラムを提供しています。



● 講義方法



全てeラーニング（オンライン）で実施します。主にインターネットを利用した学習形態で、受講サイトにアップロードされた講義動画を視聴して学習を進めていきます。就労されている方でも、ご都合に合わせて、時間や場所にとらわれず、受講することができます。

● プログラム内容

発達障がいや精神障がいのタイプ、それぞれの特性に関すること、様々な問題がある子どものアセスメント、それぞれの問題に対する支援方法、関係機関の機能や各機関との連携方法について、当センター教員や各領域で活躍している講師による講義（約60分）及び各講義ごとの試験を実施します。これにより、子どもの心の問題を早期に的確に把握し対応する能力、関係機関や保護者と連携する能力を身に付けることができます。各コース全講義修了者には長崎大学から修了証が発行されます。

※各コースの講義・講師に関しましては、4ページ目をご参考ください。

A 発達障がいの基礎・アセスメントコース

発達障がいや精神障がいの理解、各アセスメントやその結果の活用方法について学びます。初めての方は、まずAコースを受講されることをお勧めいたします。

- 定員 200名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

B 発達障がい児者への支援コース

Aコースで学んだことをもとに、学習面、対人関係面、情緒面、行動面、感覚・運動面など様々な問題への支援方法や、関係機関や保護者との連携について学びます。Aコース受講後にお勧めいたします。

- 定員 200名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

C 発達障がいトピックコース

Aコース・Bコース（全80講義）を受講された方向けのコースです。発達障がいに見られる併存症・随伴症状や、発達障がいに関する最近の研究に基づく知見、また、特色のある支援について学ぶことができます。

- 定員 200名
- 講義数 40講義
- 年間受講料 30,000円

※令和4年度のeラーニングシステム移行に伴い、変更の可能性がございます。

※受講料の納入は令和4年4月です。

※Aコース・Bコースは、令和2年度までの旧コース（全80講義）と同様の内容となります。

● 試験（テスト）について

講義視聴後、テスト（1講義につき10問・正誤問題）に受講サイト上で解答していただきます。

- ・合格条件：各テスト80%以上の正答率で合格（各テスト最大10回まで挑戦可能）

※テスト受験は受講開始翌年の1月31日までです。

修了証の発行手続き上、3月末までではありませんので予めご了承ください。

● 修了要件

受講コースの講義（各コース全40講義）を全て視聴及び、全講義のテストに合格すること。

● 受講資格

- ・高卒以上の学歴
- ・発達障がいのある子どもに関わっている方。
（教師、臨床心理士、保育士、療育関係者、保護者等、資格職種は問いません）

- ・ご自宅にパソコン及びインターネット環境がある方

※受講お申込み後のご連絡は主にメールで行います。

※PCメールアドレスが必要です。

キャリアメール（@docomo.ne.jp、@ezweb.ne.jp、@softbank.ne.jp等）や職場のメールでの受信は、文字化けやメール受信ができない等の恐れがあるため、本プログラムへのご登録はご遠慮いただいております。

● 受講申し込みについて

【お願い】 令和4年度のeラーニングシステム移行に伴い、受講料と別途料金（1人当たり¥5,000-程度）が発生する可能性があります。

変更が生じた場合は、受講申し込みいただいた皆様へご連絡し、確認を行います。

ご了承の上、お申込みくださいますようお願いいたします。

● 受講生募集期間

令和3（2021）年12月4日（土）13時～令和3（2021）年12月20日（月）正午締切

● 申込み方法

受付開始時に、当センターホームページ上にお申し込みフォームのリンクを掲載いたします。

※令和4年度eラーニングのお申し込み受け付けは締め切りました。

● 受講可否発表

令和4年3月頃予定（本人へ郵送またはメールにて通知）

※原則として、受講可否は先着順にて選考させていただきます。

【問い合わせ先】



長崎大学 子どもの心の医療・教育センター

✉メール kodomonokokoro@ml.nagasaki-u.ac.jp

🌐HP <http://www.cme.nagasaki-u.ac.jp>



最新情報は
当センター
ホームページへ

● Aコース：発達障がい基礎・アセスメントコース

A1	知的発達症・原個性学症	吉田ゆり	A21	発達障害児へのアセスメント概論・スクリーニング	吉田ゆり
A2	コミュニケーション症	岡久美子	A22	知能検査の結果に基づく支援(Binet系、Wechsler系)	吉田ゆり
A3	注意欠如・多動症	岩永竜一郎	A23	認知検査の結果に基づく支援(K-ABC、K式)	吉田ゆり
A4	自閉スペクトラム症1	岩永竜一郎	A24	発達検査(KIDS、遺儀寺、JMAPなど)	徳永瑛子
A5	自閉スペクトラム症2	岩永竜一郎	A25	言語の評価	岡久美子
A6	発達性協調運動障害	岩永竜一郎	A26	協調運動・感覚処理の評価	岩永竜一郎
A7	双極性障害・うつ病	今村明	A27	行動の評価(適応行動、ADHD評価含む)	岩永竜一郎
A8	統合失調症とその前駆症状について	今村明	A28	ASDの評価	岩永竜一郎
A9	大人の自閉スペクトラム症	今村明	A29	LDの評価	増本利信
A10	大人のADHD	今村明	A30	特別支援教育の概要と新しい指導要領について	岡野由美子
A11	子どもの神経症性障害	今村明	A31	教育委員会との取り組み	下田渚
A12	選択性嫉妬	金原洋治	A32	通常学級における特別支援教育	岡野由美子
A13	少年犯罪について	今村明	A33	個別的教育指導計画・教育支援計画	増本利信
A14	子どものトラウマとその対応	今村明	A34	過級指導教室における支援	増本利信
A15	てんかん	本田涼子	A35	特別支援学級での支援	木村栄
A16	子どもの高次脳機能障害	菅松みちえ	A36	学校における構造化の実践 ～特別支援学校(知的高等部)での取組について～	前田美和
A17	保護者の心理・憂鬱までのプロセス、保護者とのかわり	吉田ゆり	A37	スクールカウンセラーによる支援	伊藤勢津子
A18	医療による対応：診断、薬物治療	今村明	A38	スクールソーシャルワーカーの役割と支援	宮野伸枝
A19	子どもの自殺を防ぐために	中根久文	A39	保育所(園)での支援	吉田ゆり
A20	子どもによる犯罪を防ぐために	中根久文	A40	大学における発達障害学生の支援	Peter Berrick

● Bコース：発達障がい児者への支援コース

B1	応用行動分析	高橋甲介	B21	ソーシャルスキル・トレーニング	田中悟郎
B2	早期の自閉症児への介入	服巻智子	B22	ソーシャルストーリー	服巻智子
B3	認知行動療法	田山淳	B23	ASDに対する応用行動分析と実践	服巻智子
B4	発達障害児の言語発達支援	岡久美子	B24	ヘアレントトレーニングの概要	徳永瑛子
B5	自閉症児の学習スタイルと環境づくり (TEACCHアプローチに学ぶ)	服巻智子	B25	引きこもりについて	古豊慶彦
B6	ASD児のコミュニケーション支援	服巻智子	B26	発達障害者支援センター	岡田祐輔
B7	感情マネジメント	服巻智子	B27	医療機関としての取り組み	松坂忠恵
B8	感覚・協調運動の問題への対応	岩永竜一郎	B28	児童相談所による支援	柿田多佳子
B9	日常生活支援(食事、排泄、睡眠など)	仙石春仁 萩野明日香	B29	不登校・引きこもりの現状と支援者・社会が再びつながるために	宮本慶明
B10	不登校への対応	河田裕一	B30	健診における取り組み・保健センターの関わり	岩永竜一郎
B11	虐待を含む養育不全への対応 ～ASDにおける社会性不全と養育不全への対応～	服巻智子	B31	障害児通所支援事業所における発達障害児支援	宮野伸枝
B12	発達障がい児・者の性発達と性行動	宮原香美	B32	児童心理治療施設の機能と役割、そこでの発達障害児等への支援	宮田雄吾
B13	発達障がい児・者のSexuality支援の実践	宮原香美	B33	親の会活動1	内藤典子
B14	読み書きの支援1(ひらがな編)	村井敬宏	B34	親の会活動2、ヘアレントメンターによる支援	奥野由美 柿本文香
B15	読み書きの支援2(漢字編)	村井敬宏	B35	就労支援の実践	伊藤道香
B16	見ることの支援1	増本利信	B36	福祉サービス事業について	廣萩耕一
B17	見ることの支援2	増本利信	B37	相談支援事業	藤井修
B18	算数の支援	山田亮	B38	当事者からのなし	山田雄一
B19	発達障害児のための道具の工夫	輪下賢一	B39	巡回相談	岩永竜一郎
B20	ITを活用した支援	高橋知義	B40	保育所等訪問支援の取り組み	井村弘子

● Cコース：発達障がいたピックコース

C1	子どもの発達1 乳幼児の発達 ～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり	C21	児童家庭支援センターでの支援	高比良亮
C2	子どもの発達2 思春期から青年前期の発達 ～発達症(障害)の理解の基本になる基礎的な発達心理学の知識～	吉田ゆり	C22	発達障害児者の緊急時(災害など)の支援	山田裕一
C3	ADOS-2に学ぶASDの発達心理学	服巻智子	C23	児童発達支援及び放課後等デイサービスにおける リハビリテーション専門職の取り組み	酒井康年
C4	ASD児への超早期介入	服巻智子	C24	知能検査の結果を支援に活かす ～WISC-IVを使った子どもの特性理解と支援～	木谷秀勝
C5	適応行動の理解と支援	萩原拓	C25	読字と感覚・運動	高増信平
C6	強度行動障害の理解と支援	井上雅彦	C26	WAVESを用いた視覚認知の評価と支援	奥村智人
C7	吃音のある子どもの支援	菊池良和	C27	LD-SKAIPを用いた支援	奥村智人
C8	ダウン症や染色体異常による発達の課題がある子どもへの支援	近藤達郎	C28	算数障害のある子どもへの支援	熊谷恵子
C9	摂食障害への対応	宮田雄吾	C29	学習障害のある児童生徒への英語指導	村上加代子
C10	ゲーム障害・依存症	今村明	C30	中学校における通級による支援	高橋龍充
C11	LGBTの理解と支援	吉田ゆり	C31	高等学校における特別支援教育の実践	上戸綾子
C12	リストカットのある子どもへの対応	宮田雄吾	C32	高等専門学校における特別支援教育の実践	松尾秀樹
C13	発達障害児・者のトラウマ関連症状について	今村明	C33	いじめ予防の実現を目指して	和久田宇
C14	子どもの睡眠障害と神経発達障害 ～子どもの発達における睡眠の重要性について～	中井昭夫	C34	特別支援教育のための学校コンサルテーション (たすくでの取り組み)	齋藤宇開
C15	発達障害児・者の歯科治療	長田豊	C35	特別支援学校における就労に向けた専門的教育	田淵敏朗
C16	発達障害のある子どもへの幼児期に必要な支援	堀裕子	C36	発達障害のある方々の就労支援	梅永雄二
C17	ヘアレント・プログラム	辻井正次	C37	発達障害とスポーツ	澤江幸則
C18	発達障害のある子どもの周りへのアプローチ	増本利信	C38	ピアサポートとリカバリー	田中悟郎 他
C19	発達障害児者施策	日誌正文	C39	余暇支援について	加藤浩平
C20	発達障害児者への福祉行政支援	羽辺由紀子	C40	社会参加と支援	赤壁省吾